

東京国際大学第一キャンパス(的場北一丁目)の正門が、クリスマスイルミネーションで飾られました。

このイルミネーションは、学生だけではなく、地域の皆さんにも楽しんでもらいたい、という思いから始めたものです。飾り付け作業は、同大学の職員の皆さんが手作りで行いました。

点灯初日の十一月二十二日には、学生だけでなく、道行く地域の皆さんも足を止め、歓声をあげている様子が見られました。

年末のまちに彩りを加えるイルミネーション、十二月二十五日(火)まで毎日、午後十時まで点灯されます。



正門左側のイルミネーション
右側にもイルミネーションが飾られています



川越ならではの
礼儀作法など

地先祖

小江戸のならわし・その九

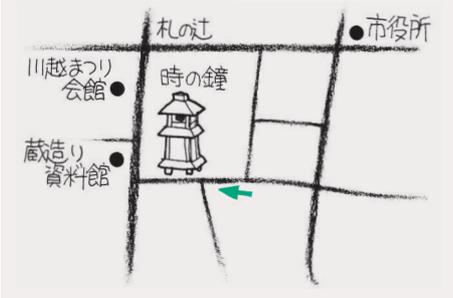


城下町の商店が並ぶ通りは、店が絶えず流動して入れ代わりします。思いを込めて開業しても一年を待たず閉店ということも少なくありません。激しい競争原理の働く表通りで、一つの場所に百年も店を続けるのは、難しいものです。営業が軌道に乗り、心のゆとりができる、何かにつけて思うのは、前に住んでいた人のことです。昔の人はその人たちを「地先祖」と呼んで敬いました。縁あってあとを譲られ営業ができる、その感謝を込め、これまでの地縁者に祈りをささげることが今日でも生きています。年末には「地先祖」への墓参を欠かさないという方の話を耳にします。
*文化財保護協会顧問・宮岡正一郎さん(みやおかしんいちろう)さんから伺った話を、広報室がまとめました。

表紙

ライトアップされた時の鐘 (幸町)

川越城築城550年を記念したライトアップ。12月31日(月)まで行われています。



川越城築城550年記念

川越城築城550年記念事業へのご協力に感謝します